

# Mamiya

Vol.  
**10**  
2005

AUTUMN/WINTER

# Gallery

Photo / Mutsuo Natuume



## 第11回 MCCフォトコンテスト 入賞作品



### 総評

前回の総評で、マンネリを脱するひとつの方法として“得意分野を増やしてみよう”という提案をしました。そのせいでしょうか、今回はタングステンフィルムで撮られた作品が三点も入賞しました。プリントの際に色調をイメージに合わせて変えた作品もありました。

作者が感じたイメージを表現する為の、技術的な手法が増えてきた事は大変喜ばしい事です。写真の場合には表現と技術とが密接な関係にあります。技術の表現ではなく表現の為の技術であることをいつも心して撮影にのぞんでいただきたいと思います。

日本写真家協会会員 原 弘男

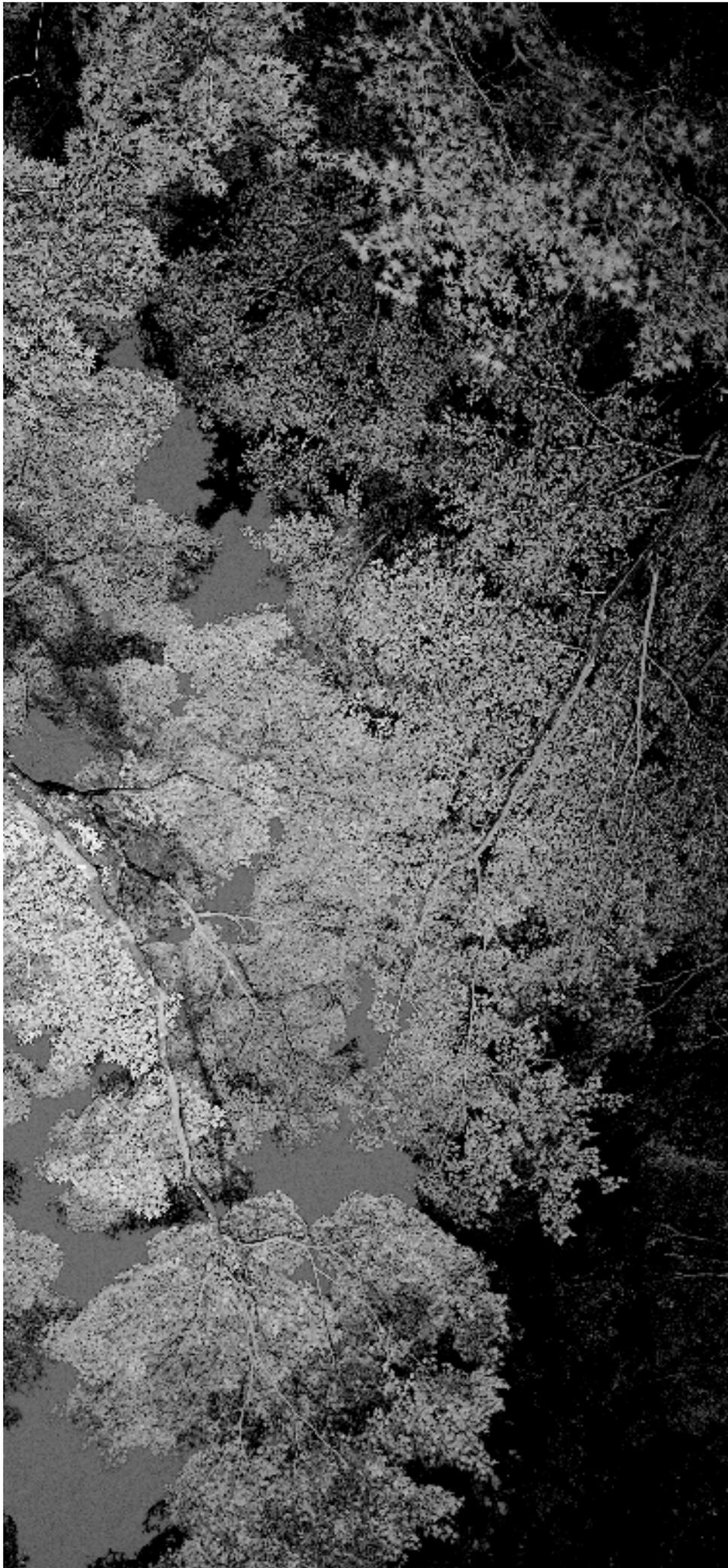
### 金賞

『紺碧の空』 高崎 信夫(愛知)

タングステンフィルム(CDU)の効果が絶妙に生かされた作品です。ストロボを焚いているので、紅葉の赤が絶妙なピンク色に表現されている点に、技術の高さと綿密な計算が見られます。

645プロTL C35mmF3.5N f5.6 30秒 CDU II





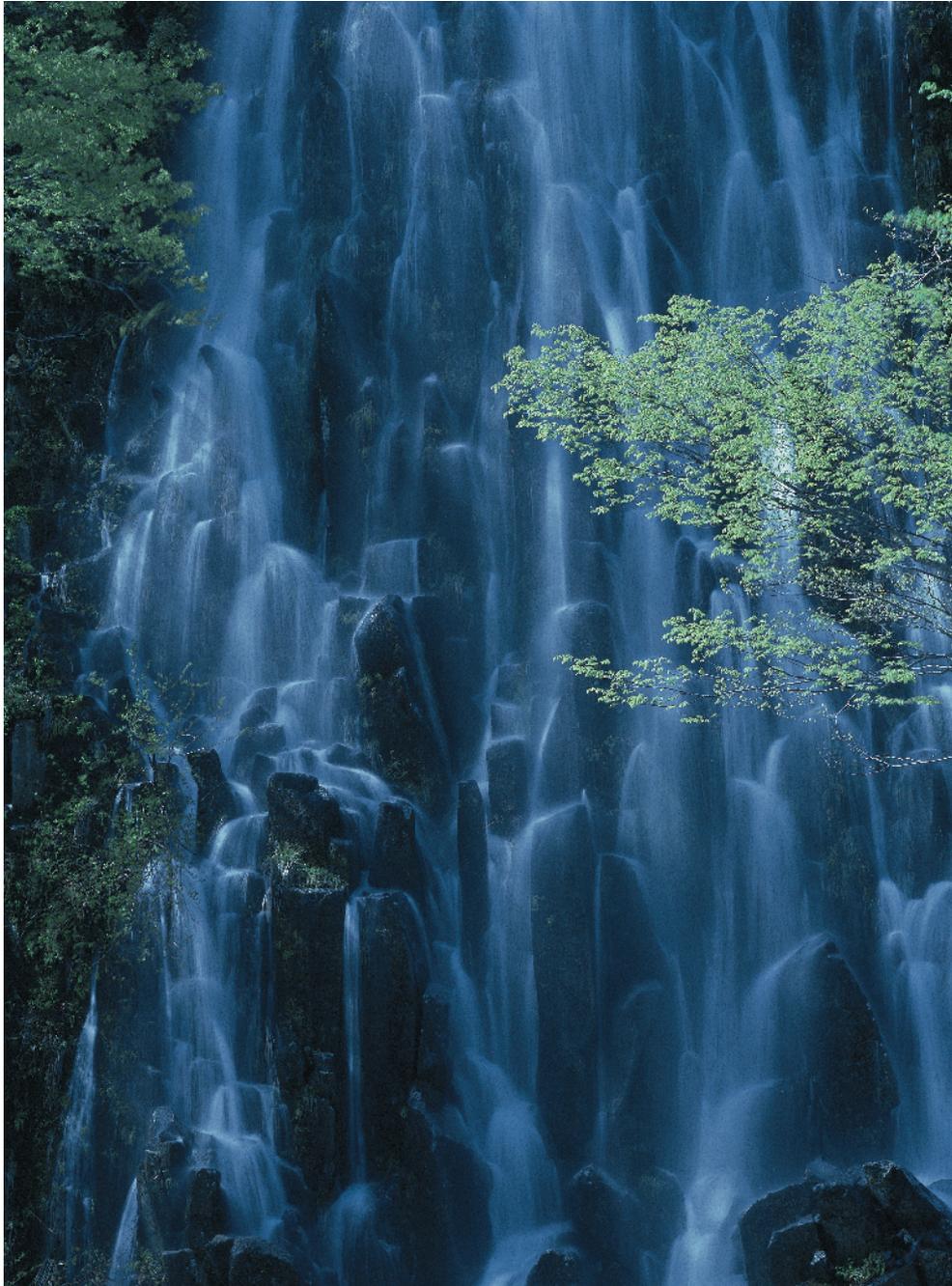
**Mamiya**Gallery



銀賞  
『水の華』 井田 慎之(東京)

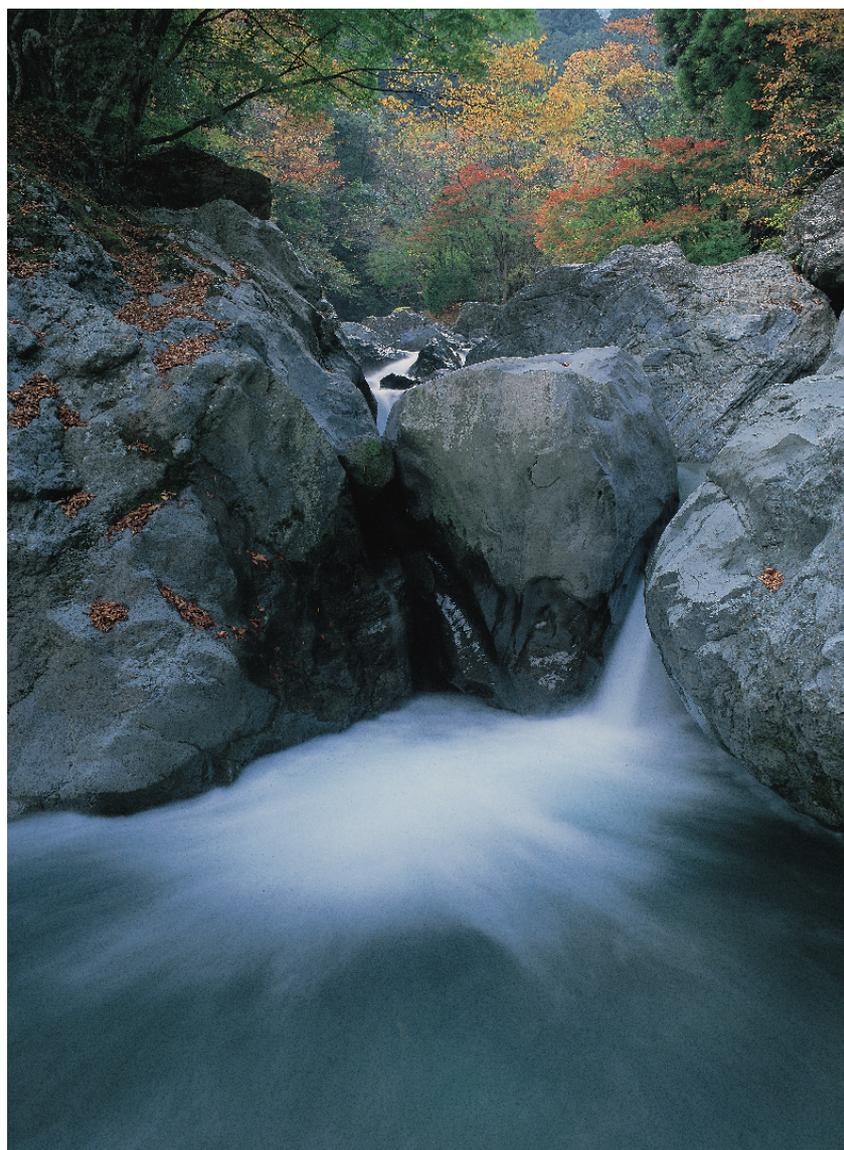
シシウドの霧氷とは！つい見過ごしてしまいそうな小さな風景ですが、この観察眼と表現力はお見事です。ケレン味のない素直な撮り方と大胆な構図が成功しています。

645AF マクロ MF120mmF4 f4 1/30 秒 RVP



銀賞  
『新緑清流』 井澤 信夫(埼玉)

タングステンフィルムで青白く写り、まるで月光写真のようにとっても神秘的です。手前に新緑の枝を配置したことで滝のスケールの大きさが出たのも良かったと思います。  
645プロTL C80mmF2.8N f22 オート RTP II



銅賞 『溪流』 桂木 文男(静岡)

小さな滝の流れが激しくほどぼして見えるのは、シャッタースピードの設定と、広角レンズで手前を大きくデフォルメした成果で、写真でしか表現できない技術をうまく生かしています。

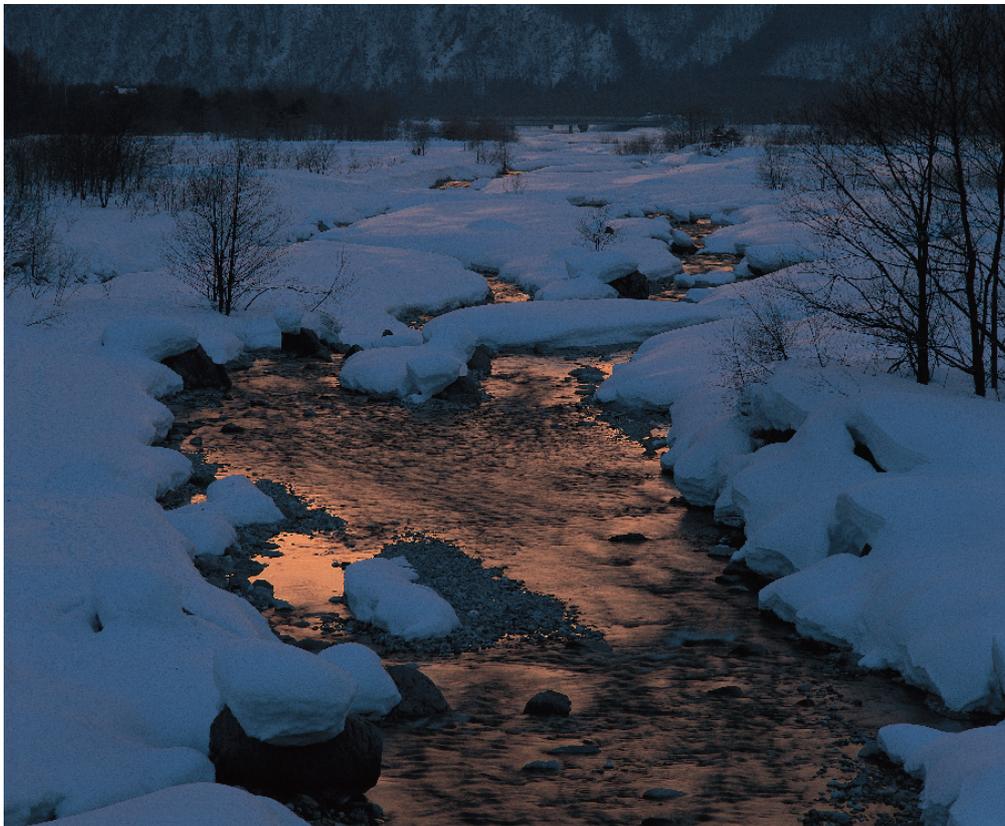
645プロ C45mmF2.8N f19 4秒 RVP PLフィルター



銅賞  
『早春の彩』 山田 宏(大阪)

あたりの景色はもうすっかり春なのに山から吹き降る風はまだまだ冬…。そんな早春の山里の情景を素直にとらえている点に好感が持てる作品です。

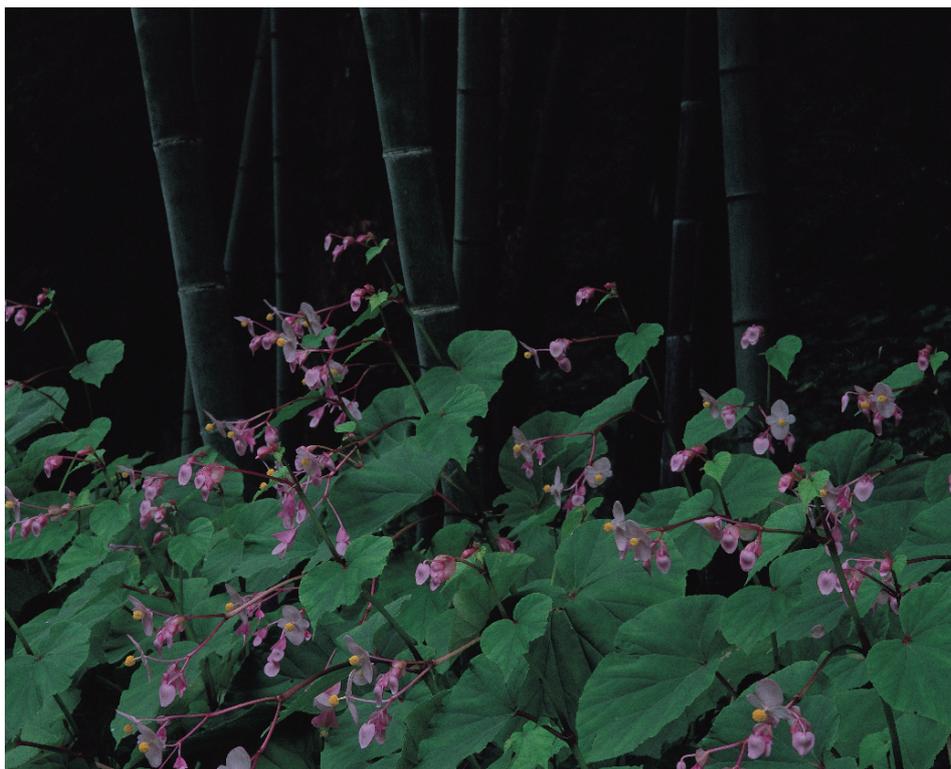
645AFD AF55-110mmF4.5 f16 1/45秒 RVP100 PLフィルター



銅賞  
『金雲流景』 柴田 卓三(神奈川)

素晴らしい朝焼けに作者が感動した様子が伝わってきます。望遠レンズにもかかわらずピントが深い点には感心しました。フレーミングはベストですが雪上の足跡が少々気になります。

RB67プロ KL250mmF4.5L-A f32 1秒 RVP PLフィルター



入選  
『竹林に咲く』 中田 友一(栃木)

何げない風景の中から独自の世界を捕らえたカメラアイに感心します。この秋海棠の花もそんな一コマです。少し画面が雑然としているので整理した方が良かったと思います。

RZ67プロ Z180mmF4.5W-N f45 1秒 RVP100



入選  
『雪の花』 川野 豊彦(広島)

フレーミングがよいので雪化粧した樹木のパターンが美しく、中央の木が一際立派に見えます。良い被写体なのでこの木の四季折々の姿を定点撮影したらどうでしょうか、きっとよい記録になると思います。

645プロTL ULD C300mmF5.6N f16 1/30秒 E100VS



入選  
『新緑の湖』 太田 秀男(長野)

爽やかな高原の空気感が伝わってきます。空の関係なのでしょうが、湖面にグラデーションがあって反映がとてもきれいです。東山魁夷の“白い馬”シリーズを彷彿とさせます。

RB67プロS KL250mmF4.5L-A f22 1/8秒 RVP



入選  
『神神しき日の出』 小出 文雄(長野)

不思議な形の雲と日の出のシーンから自然の神秘さを感じました。“神神しき”という感動を表現するために、何か技術的な演出を施してみても良かったのではないのでしょうか。

RZ67プロ Z100-200mmF5.2W f16 オート RVP



入選 『ブナ林の春』 宮田 享(神奈川県)

新緑がたいへん美しく、ブナ林のみずみずしい生命力に満ち溢れている作品です。フィルムの特性もさることながらそれ以上に光線の具合が良かったからでしょう。

RZ67プロII Z250mmF4.5W f22 1/30秒 fortia



入選

『誇張』 佐川 俊夫(東京)

やわらかなイメージが出ている点は成功ですが、少し明るいのでハイキーというより白が飛んでいるのが残念です。多重撮影では露出は勿論のこと、特に白の重なりをよく計算してください。

645プロTL マクロ C80mmF4N f4 1/500秒&f22 11秒 RHPⅢ 多重露光



入選

『春の訪れ』 井川 クキ子(東京)

ブナ林の春の訪れを雪面のクラックで表現しているのは良いアイデアでした。超広角レンズなので、もう一歩近寄って撮ると、このイメージがさらに強まり造形的にも面白くなるでしょう。

645AFD AF35mmF3.5 f22 1/15秒 RVP100



入選 『海変化』 佐藤 進(東京)

プリントの際にグリーンを強めたことで海草が鮮やかに表現されています。磯の香りが漂っていて、なんとなく懐かしい思いを感じさせてくれる作品です。

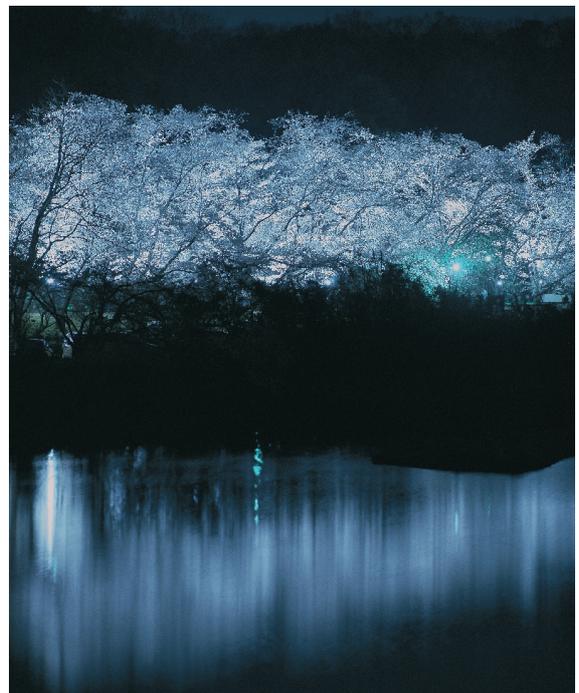
645プロTL C55-110mmF4.5N f32 オート fortia PLフィルター



入選 『花暖簾』 小野 望(神奈川)

一見、祇園の白川あたりを思わせる渋い感じの作品です。マミヤ7の210ミリでこうした撮影はたいへん難しいと思いますが、構図もピントも申し分なく感心しました。

マミヤ7 N210mmF8L f32 1/8秒 E100VS



入選 『夜 桜』 武藤 繁一(滋賀)

ライトアップされた桜がタンゲステンフィルムの効果で青白く写り幻想的な世界を作り出しています。水面の反映がブレているのがそのイメージをいっそう盛り上げています。

RZ67プロII Z360mmF6.0W f8 15秒 RTP II

mcc Photo Contest 12

写真の醍醐味、多彩な個性の競演…

それがMCCフォトコンテスト。

第12回の応募期間は10月1日(土)～11月30日(水)です。

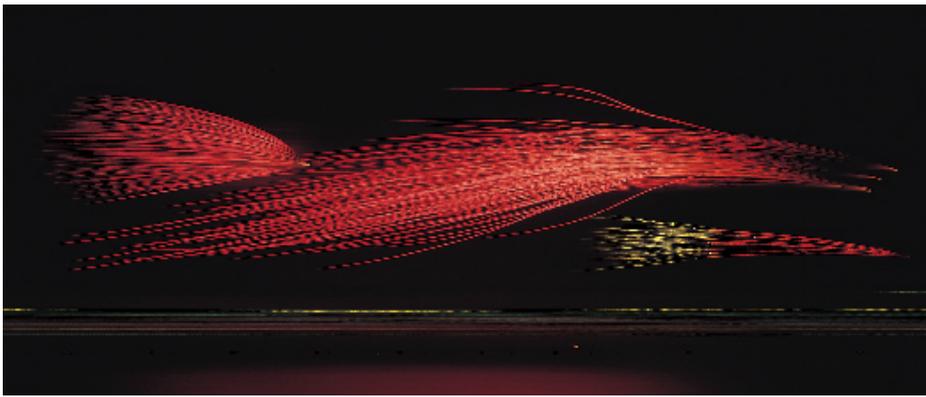
写真テーマは自由です。ふるってご応募下さい。

撮影指導・作品選 小林義明

金賞 『薄 氷』 荒川 信利(埼玉)

ローアングルから撮影し、湖畔の水を画面に入れて魅力的な写真にすることができました。氷のお陰で奥行きと朝の冷たさを感じられる写真になりました。雲が少ないときには、富士山だけでは単調な画面になりやすいため、工夫する必要があります。この日は湖畔に残っていた氷をうまく利用して画面に変化を付けることができましたね。自然の写真は思い通りには撮らせてくれないものです。そのときの条件に合わせて、どうすれば魅力的に見せることができるのか、考えて撮り続けてください。

645AFD AF35mmF3.5 f22 オート -0.7EV補正 E100VS  
PLフィルター



銀賞

『たゆとう火の舞』

萩野 信典(神奈川)

露光中にフィルムを巻き上げて花火をブラして撮影し、パノラマ画面をとっても効果的に利用しています。これも、昔のカメラならではのテクニックといえます。カメラを使いこなして、作品を生み出しているのは素晴らしいですね。新しくして簡単なのも便利ですが、自分で作り出すという感じが伝わってきます。

マミヤZM(35mm判) 35-105mmF3.5 f8 バルブ  
RVP100 露光間巻上



銅賞 『氷塊のオブジェ』 瀬沼 康一郎(神奈川)

雪の積もった茅葺き屋根とその手前にある氷をバランスよく配置して画面構成しました。また、奥行きがある画面ながら、しっかりとピントを合わせて、シャープに撮影できているのもいいですね。画面上部にゴーストが出てしまったのが残念です。しっかりとハレ切りをするか、思い切って画面の中にゴーストを強く入れてしまうのもいいでしょう。

RB67プロ KL250mmF4.5L-A f11 1/15秒 RVP100



JTB賞 『寸影の大輪』 阿部 勝彦(宮城)

河口湖畔の景色と、花火を多重露光でうまく重ねてなかなか見応えのある構図としてまとめました。多重露光は、きちんと計算した上で撮影することが必要ですが、この写真はバランスよくできていますね。湖畔の画像に対して花火の画像がブレているように見えるので、ずっとスムーズに伸びる花火の画像と組み合わせる方が、もっと迫力が出てくるでしょう。

645プロTL A200mmF2.8APO f8 バルブ RVP100



入選 『苔緑輝く』 木佐貫 哲哉(埼玉)

冬というのに青々とした苔があって、印象的な場所です。そこに流れている小さな滝を、スローシャッターで撮影してボリューム感を増しています。繊細な感じはとてうまく表現できていると思います。ここでは苔の面積がやや少なく感じるのですが、わずかに左側を切るようにフレーミングできたらよかったですね。

645AFD AF105-210mmF4.5 f11 1/8秒 RVP100



入選 『再会』 松野 敏秀(東京)

何気ない川の流れから感じたことをうまく写真にしましたね。白糸の滝から流れ出た水ですが、よく見ていると自然の中を循環している水の流れまで感じられるような気がします。流れの部分をスローシャッターでプラしているために、水面の反射と流れの白い部分が一緒になってしまいました。PLフィルターを強めにかけておくとよりハッキリ流れを見せられたかと思います。

645プロTL ULD C105-210mmF4.5 f22 オート -0.3EV補正 RVP100 UVフィルター

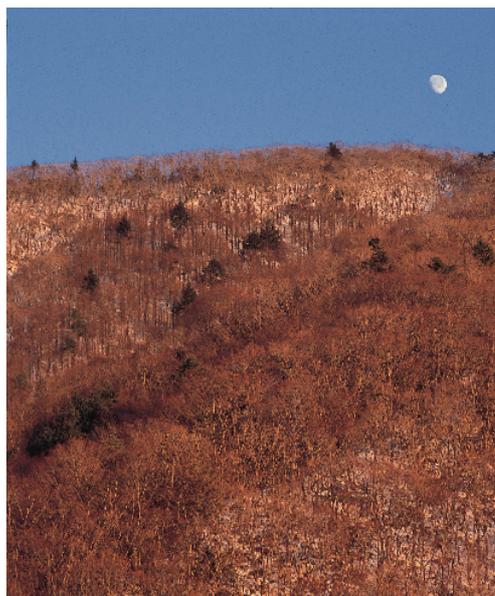
## 入選

### 『夜空に咲く』

日野 安喜(東京)

淡く大きく広がった花火、空にちりばめられた星のように写っている花火の対比が面白いですね。まさに野原に咲いている花のようだったり、きれいにまとめられたフラワーアレンジメントのような雰囲気も感じられます。水面に映っている花火の赤い色がとても強いために、水面にも目が引きつけられてしまいます。水面を境にして、ハーフNDフィルターを使うと明るさのバランスを取ることができますね。

RB67プロS ズームC100-200mmF5.2W f11  
バルブ E100VS



入選 『残月』 佐久間 弘(東京)

夜明けの赤い光が山照らし、その上に月が残っていました。富士山を撮影しようとする、どうしても富士山ばかりが気になってしまうのですが、まわりにも気を配りよい被写体を見つけることができました。雑木のパターンを考えて画面構成しているようなので、月がかなり右に寄ってしまいましたが、もう少し中央に寄せてもよかったでしょうね。

RB67プロSD KL250mmF4.5L-A f32 1/8秒 RVP100 UVフィルター



入選 『火焰の富士』 須磨 一彦(神奈川)

夜明けの微妙な色をうまく組み合わせ、とても美しい富士山の姿を描くことができました。朝日が当たって赤く染まっている雲をアクセントに、画面をうまくまとめました。山頂の雪煙が赤く染まっているところも魅力的です。この日、湖面が風いでくれたら、さらに美しい景色になったことでしょう。

645プロTL ULD C105-210mmF4.5 f16 1/2秒 RVP UVフィルター

## 「二輪草咲く新緑の上高地撮影会」コンテスト 入賞作品

### 総評

二輪草が咲く最盛期を狙った今回の撮影会でしたが、好天に恵まれ選者を悩ます好作品が多く応募されました。当日は二輪草も見飽きるほど咲いており、早朝から日没までいわゆる撮影日和でした。三日間と余裕もあり、数名でも辿り着ければと思い設定した徳沢までの徒歩コースも皆さん思いの他歩かれて、驚きました。審査はいつも通り楽しみながら選ばせて頂きました。ただ、毎回の撮影会コンテストで苦言を呈していることですが、相変わらずピントを定める位置、パンフォーカスにするか、アウトフォーカスにするかの意図が分からず中途半端な作画になっている作品が多く見受けられました。手前まで被写界深度内だったら金賞間違いなしという作品もありました。しつこいようですが、特に風景写真ではこの点に留意して良い作品を撮影して下さい。

撮影指導・作品選 花畑日尚

### 金賞 『初夏』 佐久間 博(東京)

オーソドックスな構図で、上高地らしい雰囲気うまうま出ています。季節感もよく表現されており、明神岳をきっちりと写しきった秀作です。6×7cm判の大画面ならではの大きさをよく生かしています。

RB67プロSD KL140mmF4.5M/L-A f32 1/10秒 RVP100



### 銀賞 『天狗岩の雪模様』 八坂 博孝(神奈川)

雪山を望遠レンズで思いきり切り取った事がダイナミックさを出し、好結果になっています。露出をアンダー気味にした事で早朝の雰囲気をうまうま演出しており、フィルターを使わなかったことで山と雪の質感が見事に描写されています。

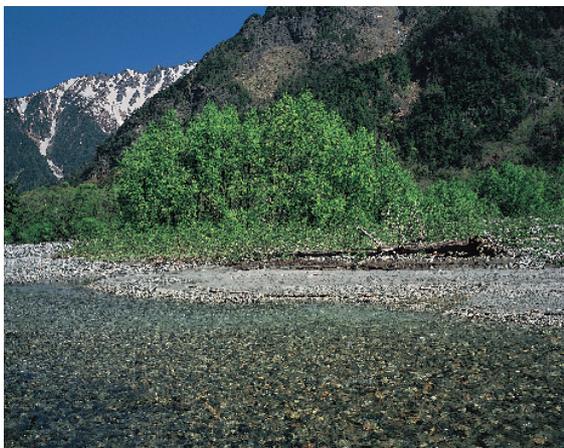
RB67プロSD KL250mmF4.5APO RVP100



### 銀賞 『五月の穂高』 川野 豊彦(広島)

光線状態を巧みに捉え、右下から左上へと視線の流れを運ばせることに成功しています。季節感、空気感を見事に表現している上、山の切り取り方が良いので構図に落ち着きが出ています。

マミヤ645プロTL ULD C105-210mmF4.5 f22 オート fortia PLフィルター



### 銅賞 『若葉に映える上高地』 古関 良一(東京)

フレーミングが良かったので安定した構図になっています。天部の切り方に空を一部入れたことにより遠近感が出ました。雪と緑を入れて順光で写した事で緑が映え、爽やかな印象と季節感を感じさせる作品になりました。

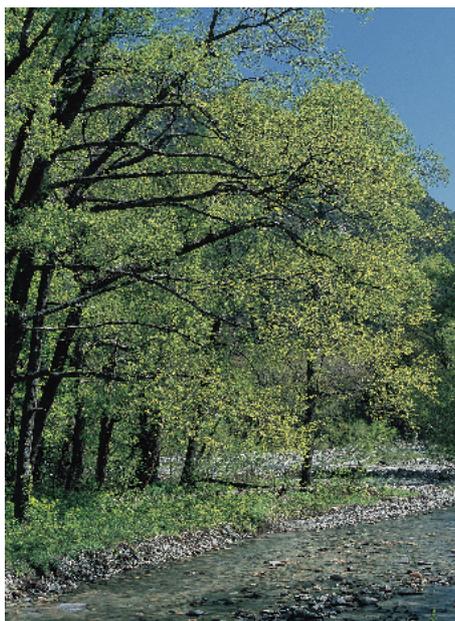
マミヤ7II N65mmF4L f16 オート fortia



### 銅賞 『ハルニレと妖精たち』 行川 征子(埼玉)

ハルニレの枝がこの作品のポイントになっています。色々な木の中で、この木とこの枝を選んだ事に感性の豊かさを感じます。二輪草よりむしろ木を主人公にした事も好結果を生んでいます。ただ、若干アンダーになってしまった事が悔やまれます。少し明るめになれば木の雰囲気をもっと良くなったことでしょう。

645AFD AF55-110mmF4.5 f19 1/15秒 fortiaSP



銅賞

『新緑の輝き』

川崎 茂(茨城)

新緑の空気感、季節感が一番うまく出ていた作品でした。主役の木を大きく取り入れ、川と対比させる事によって画面のバランスを取っています。少しピントが甘い感じですが、この場合はシャッタースピードを上げる為にもPLフィルターは外した方が良かったのではないのでしょうか。

645プロ ULD C105-210mmF4.5 f22  
オート RVP100 PLフィルター



JTB賞 『春到来』 木佐貫 哲哉(埼玉)

今回の撮影会では二輪草の咲き方がすばらしく、群落をまとめて撮りたくなる状況でしたが、一番綺麗な花を選びストレートの撮った事が好印象でした。マクロレンズで花や自然への憧憬を込めて写している事がよくわかります。マイナス補正も正解でした。

マミヤ645AF マクロMF120mmF4 f8 1/4秒 -0.3EV補正 RVP



入選

『光る化粧やなぎ』 磯崎 和夫(埼玉)

光線状態をよく考えられて朝の爽やかな空気感を出しています。山の稜線を画面に入れなかった事で狙いが明確になっています。ただ雪の分量が多く下のハイライト部の印象を薄めてしまっているので、私だったらもう少しフレーミングを下げても、雪の分量を少なくしバランスを取ったでしょう。

RZ67プロ Z250mmF4.5W f22 オート E100VS



入選 『残雪』 柳沢 博庸(埼玉)

初夏の爽やかさを出すために苦労された事がよく伝わってくる作品です。枝をうまく入れた構図も、トリミングの分量も良かったのですが、少しアンダー過ぎたきらいがあります。

RZ67プロ Z110mmF2.8W f16 オート RVP



入選 『東雲』 荒川 信利(埼玉)

今回は朝焼けの応募が数少なく、新鮮な印象で見ることができました。マイナス 1.0 の補正がこの写真のイメージをうまく作り上げています。もう少し下の暗部を切り、空を入れたほうが朝の雰囲気が生きたのではないのでしょうか。

マミヤ7Ⅱ N150mmF4.5L f8 オート -1.0EV補正 E100VS



入選 『時の流れ』 松野 敏秀(東京)

大胆な構図が非常にすばらしく、非の打ち所がないフレーミングで金賞の第一候補でした。おしくも入選にしたのは木の一番手前がアウトフォーカスになってしまっている為でした。紙面では分からないかもしれませんが、引き伸ばしたプリントだとピントがボケた印象は否めません。私も悔しくなる程、残念な作品でした。

645プロTL C55mmF2.8N f22 オート RVP100 UVフィルター



入選 『春の清流』 伊藤 勝二(神奈川)

さりげなく撮られている様に好感が持てます。雲が出て日が陰りがちな時でしたが、日が射した瞬間をうまく捉え、空の色を写しこむ事で池の雰囲気を出しています。きっとご自分のイメージ通りの作品になっていたのではないのでしょうか。

マミヤ645プロ C55-110mmF4.5N f8 オート RVP100

# 徹することで見えるもの

夏梅 陸夫



過去 30 数年、植物をテーマに写真を写して来た。今、私の教室にやって来る中高年の人たちは過去に人物や風景などを写した経験を持つ人と初めての人であるが、両方一緒に写す人が対象を「植物風景」一本に絞った時に見事に作品が変化する。何かかと言えばそれまで漠然とシャッターを切っていたのが植物の表情や風情を発見し自分の心で写すようになるからである。

同じ場所で同じ植物を写しても一年目と二年目では明らかに違ってくる。これは経験が加わるからで経験の積み重ねが見る人に感動を与えるのである。

写真は発見の芸術であるというのが私の持論である。教室の生徒がよく私はセンスがないからと口にしますが、確かにセンスは大事な要素だが、それより植物を写すとき感動の発見ということを重視して技術は 10% でいいとよく言う。写真は技術だけで心を映し出せるものではない。何かを発見することが出発点でそこから自分の感情をいかに表現するかが大事である。

まず発見する目を持つこと、技術は二年もすれば自然と身についてくる。何にもないところから何を発見するか。私はこのことを指導の基本と自分に言い聞かせて植物という対象に向かっている。

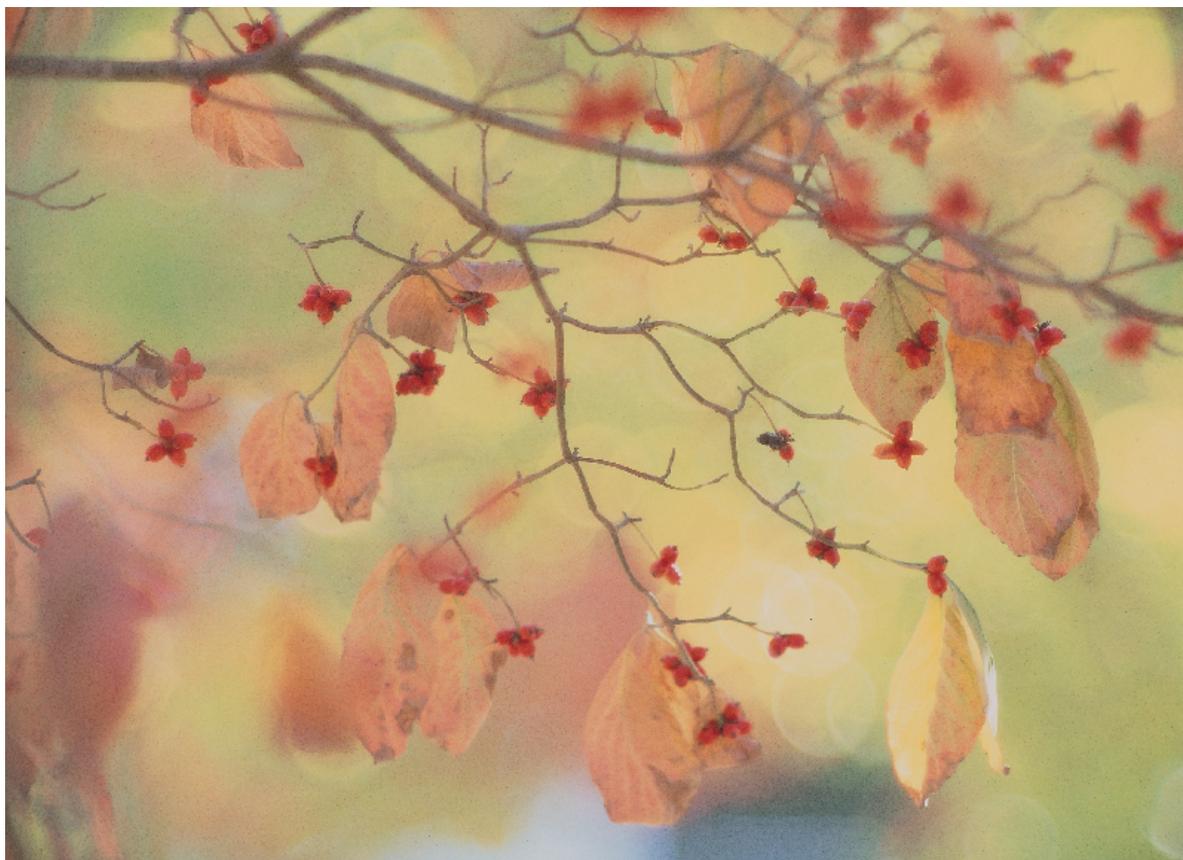
どの世界にも名人、一流と言われる人が必ずいるがそれらの人は一つのことに徹した人で、徹しなければ見えてこない世界がある。あれもこれもと心を揺るがせず一つのことに徹し深めていけば次元の違う世界が見え新しい作品が撮れるようになる。

現在教室では 4 年前から「3 コマ写真」を教えている。これは一枚で見せる植物写真より種類の植物の様々な姿、形と表情や風情などを捉えアングルや構図を変えて 3 枚で表現するもので一枚よりはるかに内容のある作品になることに気付いたからである。

徹することから生まれた新しい世界「3 コマ写真」にメンバーが競ってデジタルと銀塩カメラで作品作りに徹し心豊かに挑戦している姿には希望が満ちあふれている。

## プロフィール

1941 年福井県生まれ。  
株式会社フラワープロダクション代表  
著書に写真集「植物風景」グラフィック社  
「花をやさしく写す」日本カメラ社  
「花の写真撮影テクニック」日本文芸社  
「誕生花 366 の花言葉」大泉書店  
「花の名前の手帖」春編、夏編、秋冬編  
ブティック社 他多数。  
夏梅陸夫写真教室主宰  
日本写真家協会会員  
<http://homepage2.nifty.com/nr907/>



645AFD AF ULD210mmF4 f4 オート +1.5EV補正

表紙 645AFD AF35mmF3.5 f16 オート +1.5EV補正



645AFD マクロMF120mmF4 f4 オート



645AFD AF ULD210mmF4 f4 オート +1EV補正

# 中判カメラのフォーマットとカメラ

講師 山崎 正路

6×4.5cm判カメラはブローニーフィルムを使用するカメラでは、一番小さなカメラですがフィルム画面サイズは35ミリ判の約2.7倍あります。画面サイズが大きいので高感度フィルムを使用したり、プリント時の拡大率が低く、より精度の高い写真にすることが出来ます。

35ミリカメラは縦横比が1対1.5の対角です、横の広がりを感じさせる風景などは納まりが良いのですが、縦位置の写真などでは上下に空きが出ることがあります。プリント時は紙とのバランスが悪く無駄な余白が出ることもあります。

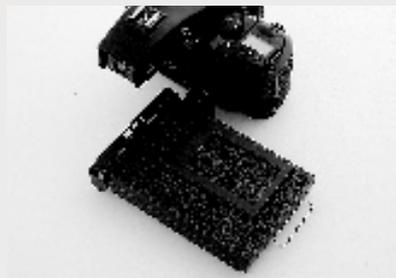
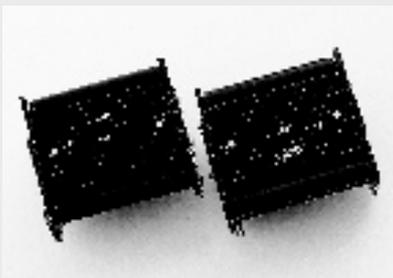
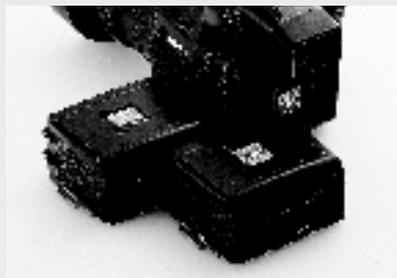
6×4.5cm判は対角が約1対1.4で、縦位置でも横位置でも安定感があり、ほぼA判に近いバランスになります。

35ミリ一眼レフカメラに近い感覚で使うことの出来る中判カメラで、35ミリカメラから移行しても基本操作でまごつくことは少ないはずで、カメラ機能そのものよりフィルムの違いによる装填操作などが異なります。



## ホルダー交換のメリット

35ミリカメラにない機能の一つにいつでもフィルムを換えることができるホルダー交換という機能があります。同一場面でフィルムタイプや感度、ネガとポジ、カラーとモノクロなどを組み合わせて使用することができます。また同じフィルムを同じ条件で撮影しておいて一方をテスト現像し、結果を見てから本番用は増減感処理をする事もあります。ホルダー交換は中判カメラの魅力的な機能ですので、是非2つ目のホルダーを持つ事をおすすめします。またポラロイドバックやデジタルバックにも対応しています。



## フィルムの特徴をつかもう

フィルムにはそれぞれ特徴があります。同じ撮影条件でもフィルムの持つクセ(持ち味)によって写真の表現が大いに変わることがあります。

見たままの色を忠実に再現してくれるようなフィルムもあれば、彩度の高い鮮やかな色再現をするフィルムなどもあります。ブローニーフィルムにも35ミリ判と同じく様々なフィルムが用意されていますので、常に完成した作品のイメージを描きながらホルダー交換し、フィルムを選ぶことを心がけてください。



彩度の高いフィルム



ナチュラルな発色のフィルム

# タイプ「6×4.5cm判カメラ篇」

## ズームレンズ

中判以上の大型カメラになりますと、短焦点レンズが多くなりますが、6×4.5判ではズームレンズも発売されており、使用頻度も高くなります。ここでは6×4.5判ズームレンズ使用に際したちょっとしたヒントをお教えします。

55-110mmは便利な標準系ズームレンズです。花等のアップ撮影等には接写リングと組み合わせることのできるかなりの近接撮影が出来ます。接写リングはコンパクトでリーズナブルなアクセサリでNO.1.2.3があります。本格的な近接写真は等倍撮影のマクロレンズ120ミリが用意されています。



No.1 + No.2



No.1



No.1 + No.2を装着



No.1を装着



55×110mm ノーマル

## 露光間ズーミング

ズームレンズにしか出来ない写真に露光間ズーミングがあります。露光時間中にズームレンズの画角を変えるので1秒前後の露出時間で明暗比の大きい被写体が効果的です。ワイド側からとテレ側からで違う効果が出ます。ズーミングのスピードでも違う効果になります。



55×110mm ノーマル



ズーム

55-110mm F32 2秒 PL

## ズームレンズのフード

単体レンズのフードに比べてズームレンズの花形フードは広角の状態に合わせる必要があり、望遠側では物足りなくなる事があります。

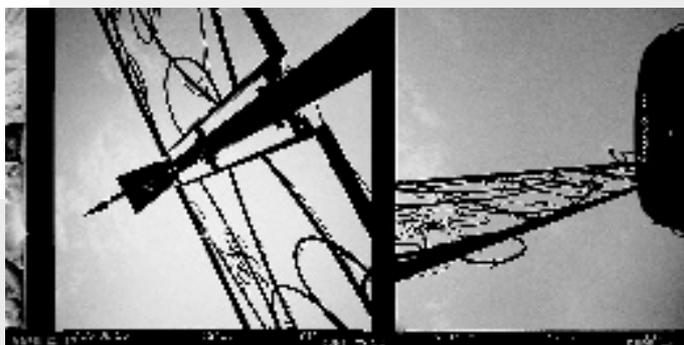
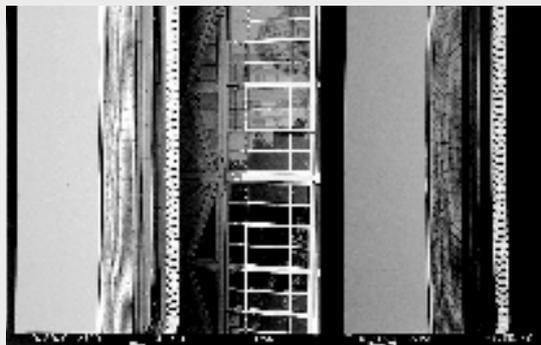
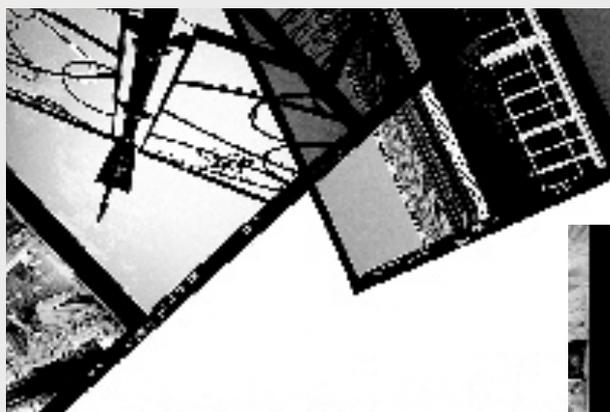
マミヤにはラバーフードが商品としてありますので、RZ67用のフード77NO.2をステップアップリングで67ミリにしてズーム55-110mmで使用しています。55ミリはたたんだ状態で75ミリからは伸して使用します。ファインダーでケラレがないか注意して下さい。



フードだけでは無理な場合離れた位置から遮光したりすることもあります。

## データ写し仕込み

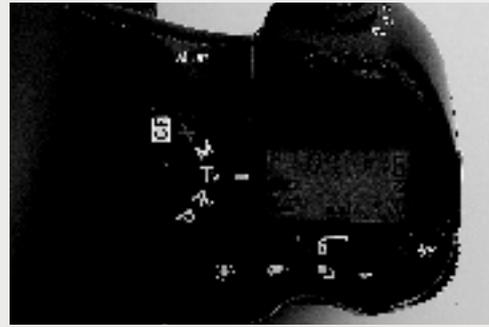
645カメラはフィルム上にデータを残すことが出来ます、通し番号やコンテストの為のデータ記録、撮影日時等便利な機能です。



中判カメラの中では一番小さいサイズの645カメラですが望遠レンズをつけた時等は三脚の使用が望ましいと思います。35ミリなりに機動力を出したい場合は一脚も効果的です画質に勝れている中判カメラでも、ブレては台無しです。

## 645AFDが645AFD IIに進化しました。 より使いやすくなり精度の上がった改良部分を紹介します。

ファインダーの露出補正ダイヤルに追加された+/-ポジションにすることで、右手グリップ後部で露出補正が出来るようになり、1/3、1/2の露出補正選択も可能になりました。また上部のディスプレイでも補正值が表示されるようになり三脚使用の時等に便利になりました。



露出補正はカメラ内部の露出計では表現することがむずかしい被写体や、ハイキー、ローキーの写真表現、被写体の色による補正等に頻度の高い機能です。



左側にあったミラーアップレバーが右側上部に移りワンタッチでミラーアップが出来ます。中判カメラでは、商品撮影や風景写真の時などミラーアップをして精度を上げた写真を狙う場合も多く便利になりました。

セルフタイマーがシャッターロックダイヤルで簡単に出来るようになりました。セルフタイマーは記念写真だけではなく、三脚を使用した風景写真でレリーズを使わない時などは2秒にセットしてセルフタイマーでシャッターを切るとカメラブレを防ぐことが出来ます。カスタムファンクションがわかりやすくなり、ファンクション数も増えより好みのカメラに近付けることが出来ます。



プログラムAEのシフトの幅が広がり、絞り優先、シャッター優先的な使い方ができ、露出補正と組み合わせればPポジションでほとんどの撮影が素早くこなせます。

## 新製品紹介

# Mamiya 645AFD II

1975年、世界初の6×4.5cm判一眼レフカメラとして登場したマミヤM 645。ロクヨンゴという名を初めて名乗ったそのカメラのコンセプト、高画質とハンドリングの良さを引き継ぎ、最新のテクノロジーを搭載した中判カメラ、それが645AFD IIです。

- 新たに36項目のカスタムファンクションを追加  
ユーザー1人1人にフィットした設定が可能に
- 使用頻度の高い機能をワンタッチ設定  
電子ダイヤルによる露出補正可能、オートブラケット、ミラーアップ撮影、AFロック、多重露出、ダイヤルロック、セルフタイマー etc
- 高度で多彩な制御システム  
フォーカスセンサーに新型クロスラインセンサーを採用し、ピント精度を向上  
フォーカスエリアの切り替え可能（ノーマル、スポット）  
液晶表示情報の多彩化



マミヤ 645AFD II ボディ  
315,000円(税別)

## マミヤ 協賛撮影会 & セミナー

マミヤカメラクラブ員に限らず、どなたでも参加できます。

### クリエイト写真教室 中判カメラ写真教室

主催：富士フィルムイメージテック株式会社  
日時：2005年9月26日(月)～12月5日(月) 全6回コース  
講師：秦 達夫 先生  
参加費：38,900円  
問合せ/申込：03-3342-9811  
備考：バス実習は貸切バス使用。マミヤカメラの貸出しあり。

### 大中判撮影会&写真塾 裏磐梯を撮る～秋～

主催：大中判カメラ普及協会  
日時：2005年10月21日(金)～22日(土)1泊2日  
講師：花畑 日尚 先生  
参加費：29,000円  
宿泊：裏磐梯ロイヤルホテル  
問合せ/申込：03-3222-6622  
備考：中判カメラの貸出あり。猪苗代駅より送迎あり。

### 大中判撮影会&写真塾 裏磐梯を撮る～冬～

主催：大中判カメラ普及協会  
日時：2006年2月2日(木)～4日(土)2泊3日  
講師：鈴木 一雄 先生  
参加費：45,000円  
宿泊：裏磐梯ロイヤルホテル  
問合せ/申込：03-3222-6622  
備考：中判カメラの貸出あり。猪苗代駅より送迎あり。

## マミヤカメラクラブ撮影会予定

### 2005 年秋季撮影会 秋の鎌池、雨飾山撮影会

日程：2005年10月14日(金)～15日(土)1泊2日  
場所：小谷村、雨飾山山麓周辺  
指導：林 明輝先生  
会費：新宿発 34,000円 JR 豊科駅集合：32,000円  
宿泊：栃の樹亭 0261-85-1100  
定員：30名

### 2006 年冬季撮影会 穴道湖、大山周辺撮影会

日程：2006年1月27日(金)～29日(土)  
場所：穴道湖・大山周辺  
指導：石橋睦美先生  
詳細未定  
※ 詳細が決まり次第ご案内致します

# MCC ORIGINAL GEAR

ハンドメイド、オリジナル商品の為、受注生産。納期は1ヶ月程かかります。(下記の商品につきましては、クラブポイント交換対象外とさせていただきます)



実物はマミヤのロゴが入ります

## マミヤ 645 専用チェストカメラケース

●ザックのショルダーに掛けて首にかかる荷重を軽減。ウェストバック型のマミヤ 645 専用カメラケース。ザックのショルダー部からジョイントテープで取り付けるので首や腰への負担が少なく、移動中でも速写に対応できます。



- ・ マミヤ 645 がそのまま収まる(55-110 mmレンズ付まで)
- ・ カメラの出し入れが容易で速写に対応
- ・ ウェストバック、ショルダーバックにもなる。
- ・ 信頼のラムダ社製

寸 法 / 高 18x 幅 25x 厚 13 cm  
表 材 / 強力ナイロン製  
重 量 / 430 g  
カラー / ネイビー、オリーブ、ブラック  
会員特別価格 15,225円(税抜価格 14,500円)

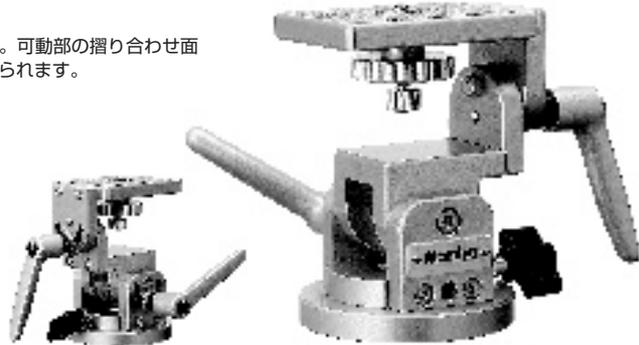
※ご注文はクラブ事務局までお電話か FAX にてお申し込みください。

## MCC 3D 雲台 ●なめらかな操作の小型 3WAY 雲台。

中判カメラから大判カメラまで対応できる頑丈な小型雲台です。可動部の摺り合わせ面の平面性を極限まで高めており、適度な滑らかさとトルクが得られます。

- ・ 大型カメラの重量に耐える頑丈さ
- ・ スムーズな操作性
- ・ レバー式でかさばらない
- ・ ブレーキレバーのストップ位置はワンタッチ変更可能

素 材 / アルミ削りだし  
高 さ / 120 mm  
重 さ / 800 g  
カメラ取り付け部 / 60x80 mm  
三脚取り付け部 / φ80 mm  
会員特別価格 94,500円(税抜価格 90,000円)  
オプション: ネームプレート名入れ 3,000円



※ご注文はクラブ事務局までお電話か FAX にてお申し込みください。

## マミヤカメラクラブ会員サービス

尾瀬見晴十字路の山小屋「原の小屋」  
MCCクラブ員ご宿泊、ご休憩の方に  
コーヒーサービス。

マミヤカメラクラブ会員証もしくはバッジをご提示下さい。  
〒967-0531  
福島県南会津郡桧枝岐村 尾瀬 見晴十字路  
原の小屋連絡所 TEL.0241-75-2038  
現地衛星電話 090-8921-8314  
HP/http://www.ne.jp/asahi/oze/haranokoya/



## マミヤカメラクラブポイント交換

オリジナルミニFMラジオ



手のひらにすっぽり収まるミニサイズ。スタイリッシュ&シンプルデザインの携帯FMラジオです。撮影のお供にどうぞ。

- サイズ: 45x65x9 mm
- 色: シルバー

交換ポイント数 15ポイント

## 『上高地撮影会』後記 2005年5月27日(金)~29日(日)

5月末の二輪草の最盛期を狙い久しぶりの上高地撮影会を行った。

例年なら新緑期は6月に撮影に来る事が多かったのだが、西糸屋の奥原さんに聞いてみると二輪草なら5月末だとの事。新緑も綺麗で、穂高にも雪が残るすばらしい眺望となっていた。二輪草もこんなに多いとは、思いもよらず見飽きる程であった。撮影初日は河童橋周辺、2日目は今回の目玉である明神池方面から徳沢まで行く(徳沢までは自由参加)。3日目は大正池方面という無駄のない行程。

天気も上々、早朝から日没まで撮影日中で休む暇もない。徳沢までの徒歩はカメラ機材を背負うとさすがにきつかったが、午前中一杯を

ゆっくり撮影しながらやっとな徳沢牧場に辿り着く。

二輪草は満開、今までの場所とは花の濃度が違う。思う存分撮影...と思ったらロープが張ってある。

もしや立ち入り禁止?!と一瞬目の前が暗くなりかけたが、ロープの張り紙を読むと“撮影の方はロープの中へお入り下さい。”えっ!!予想外のお言葉。どこまでも写真家にやさしい上高地なのでした。

3日間とにかく天気が良く、日焼けの後もくっきり。いつ来ても写真家を楽しませてくれる上高地に感謝。本番前日から4日間もの長丁場をご指導頂いた花畑先生にもお礼を、ありがとうございました。(吉澤)



マミヤカメラクラブ



写真を楽しむ・・・、  
学ぶ・・・、そして集う。

写真を楽しむ、学ぶ、そして集う。  
写真を通して写真を語り、撮影技術の向上を目指す方のためのクラブです。  
マミヤカメラをご愛用の方ならどなたでもご入会できます。  
講師指導の撮影会やクラブ員の全国フォトコンテスト、セミナーなどを実施しています。  
撮影会では機材の無料貸出しがあり、使用してみたいレンズなどを試せます。  
宿泊撮影会ではセミナーが開かれ講師のアドバイスが得られるほか、愛機のクリニック(点検・清掃)も受けられます。会員の方には、ポイント券制度・修理割引・オリジナルグッズ特別斡旋などの特典があります。

入会金:1,050円(消費税込み)  
会費:4,200円(消費税込み)2年会費  
手続:入会のご案内(払込取扱票付き)を事務局にご請求下さい。

クラブ員特典

- 1.クラブ誌「マミヤギャラリー」の配布  
クラブ員の皆さまの写真をより多く公表する場としてのクラブ機関誌「マミヤギャラリー」を年2回配布します。
- 2.ポイント券制度  
製品購入時、雑誌掲載時、コンテスト入賞時、入会時、各種イベント参加時など各々にポイントがつきます。このポイントを集めると素敵な商品と交換することができます。
- 3.修理代金の割引  
ご愛用のマミヤ製品の点検・修理を依頼する場合には、通常の修理代金より割引いたします。
- 4.マミヤカメラクラブメール  
クラブ主催のイベントや新製品情報など、写真に関する情報をいち早くお知らせいたします。
- 5.マミヤオリジナルグッズの特別斡旋販売  
マミヤ特製オリジナルグッズをクラブ会員特別価格でご提供させていただきます。



入会のお申し込み、お問い合わせは  
マミヤカメラクラブ・事務局  
TEL.048-858-4826



マミヤカメラ・サービスセンター

修理をはじめオーバーホール、清掃などを専門に承ります。  
また、マミヤ全機種を展示。実際に手にとって操作感や質感を確かめられるとともにお客様の個性に応じた商品選定などのアドバイスも提供しています。  
また、操作上の疑問にもお答えしています。電話、ファクスでも承ります。

東京サービスセンター TEL 03-3375-3701 FAX 03-3375-3703 営業時間 10:00～18:00  
大阪サービスセンター TEL 06-6541-5631 FAX 06-6541-5769 営業時間 9:00～17:00  
土、日、祝日は休業

感動が宝もの Mamiya-OP マミヤ・オーピー株式会社

本社 〒338-8501 埼玉県さいたま市桜区西堀 10-13-1

商品・修理に関するお問い合わせは、サービスセンターへご相談下さい。

東京サービスセンター 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-6西新宿IKビル TEL 03-3375-3701  
FAX 03-3375-3703  
大阪サービスセンター 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1-10-11西谷ビル TEL 06-6541-5631  
FAX 06-6541-5769

インターネット《ホームページ》<http://www.mamiya-op.co.jp>

修理に関するお問い合わせは、マミヤカメラ認定修理センターへお問い合わせください。

マミヤカメラ認定修理センター

北海道地区 株式会社タック  
カメラサービスセンター :〒060-0053 札幌市中央区南3条東4丁目  
TEL011-221-8507 FAX 011-232-3344  
東北地区 MCプロテック :〒983-0841 宮城県仙台市宮城野区原町5丁目3-44森ビル202  
TEL022-297-3846 FAX 022-297-3867  
東海地区 山田テクニカルサービス :〒496-0026 愛知県津島市唐臼町大門99  
TEL0567-32-2708 FAX0567-32-3454  
九州地区 山口カメラサービス :〒816-0097 福岡市博多区半道橋1-13-20  
TEL092-451-0655 FAX 092-451-0655

※マミヤカメラ認定修理センターでは、商品の説明に関する業務はいたしていません。